

質問に対する回答一覧

※質問内容は、原文のとおり記載し、同種の質問についても全て記載しています。

No.	質問項目	質問内容	回答
1	募集要項P.3 5 申込方法 (3)企画提案書類の提出	8部（正本1部、副本7部）を提出することありますが、正本と副本の違いは、業務実績（様式2）に契約書の写しなどを添付したものが正本であり、それ以外については、正本も副本も内容は全く同じものという認識でよろしいでしょうか。また、副本の見積書（様式4）も押印が必要なのでしょうか。	正本と副本の違いは、ご認識のとおりです。正本には、契約書の写しなどの添付が必要となります。 副本の見積書については、写しを添付してください（押印は不要です）。
2	募集要項P.3 5 申込方法 (3)企画提案書類の提出	企画提案書類の作成要領について、押印が必要なものは見積書（正本）のみでよろしいでしょうか。また、副本については見積書の写しを添付する形でよろしいでしょうか。	ご認識のとおり、押印が必要なものは見積書（正本）のみです。 副本に添付する見積書については、写しを添付してください。
3	募集要項P.4 6 企画提案書類の作成要領 (6)見積書（様式4）	押印が必要な書類は、見積書（様式4）の代表者印のみということでしょうか。	ご認識のとおりです。
4	募集要項P.4 6 企画提案書類の作成要領 (6)見積書（様式4）	見積書②参考として、同時利用制限を100ユーザ以上、登録ユーザを1000以上とありますが、利用トークン（月間）は、GPT-4o利用想定として、どれくらいを想定されていますでしょうか。	様式4の「（参考）利用対象を拡大した場合の使用料（月額）」については、金額のみを比較する審査項目ではなく、本市の目的、指定されたユーザ数から適切な利用量等を想定し、提案できるかを審査することを目的としております。そのため、利用想定については回答を差し控えます。
5	募集要項P.4 6 企画提案書類の作成要領 (6)見積書（様式4）	ユーザ登録数は1000ユーザ以上とありますが、サービス利用開始時点で実際に登録するユーザ数はどれくらいを想定されていますでしょうか。	令和7年度のサービス利用開始時点では、ユーザ数は500名前後を想定しています。利用拡大時点では、900名前後を想定しています。
6	募集要項P.5 7 審査及び選定方針 （4）プレゼンテーションの実施イ出席者	プレゼンテーションの出席者は5名以内（Teams等によるオンライン参加も可）とありますが、オンライン参加は複数箇所からの参加も可能でしょうか。 また、接続先1箇所を1名と換算してよろしいでしょうか。	オンラインの参加については、複数箇所からの参加も可能です。 オンラインで参加される場合、厳密に参加者をカウントすることは困難であると考えております。会場の都合もあり、現地参加者は5名以内といたします。オンラインで参加される場合は、発言できる方は5名以内とします。なお、現地参加人数は発言予定に関わらず、参加人数にカウントします。 （例）現地3人参加される場合は、オンラインで発言可能なのは2人までとなります。 オンラインでの参加方法等については、「参加承認通知書」で詳細をご案内します。
7	募集要項P.7 別表 審査基準 金額評価 見積額	利用開始日（想定）が10月1日から11月中まで提案できるようご考慮頂いておりますが、利用開始日によって実際の利用期間が異なり総額も異なってきますが、見積額はどのような基準で評価されるのでしょうか。	詳細な審査方法は差し控えますが、初期導入・研修業務委託料、月額使用料、同時接続数、RAGアップロード容量、利用トークン想定などを考慮し、各社の提案を審査する予定です。

質問に対する回答一覧

※質問内容は、原文のとおり記載し、同種の質問についても全て記載しています。

No.	質問項目	質問内容	回答
8	募集要項P.7 別表 審査基準 金額評価 見積額	審査基準毎の配点を教えていただけますでしょうか。	配点は非公表とさせていただきます。 なお、審査結果公表の際に、審査基準（配点）を公表する予定です。
9	仕様書P.2 4（2）生成AIサービス提供業務	サービスの利用開始日（想定）は、遅くとも11月中には利用開始するものとするありますが、最も遅い日は、11月28日（金）を想定されていますでしょうか。	サービス利用開始日（想定）は、令和7年10月1日としています。10月1日の利用開始が望ましいですが、初期構築に一定の時間が必要なシステムがあることも認識しております。そのため、一定の猶予として遅くとも11月中には利用開始するものと定めております。 以上のことから、最も遅い利用開始日は、ご認識のとおり11月28日（金）となります。
10	仕様書P.2 4（3）生成AI活用支援業務（職員研修）	(3)生成AI活用支援業務（職員研修）の項目において、システム利用職員対象の研修で研修動画の提供とございますが、当日の動画を後日提供する形で問題ないでしょうか。または、同内容の動画マニュアルなどの納品をイメージされておりますでしょうか。	研修会当日の動画を後日提供する形で問題ありません。
11	仕様書P.2 4（3）生成AI活用支援業務（職員研修）	弊社の生成AIサービスは、テンプレートやRAGファイルを管理者・利用者誰でも新規登録できるため、テンプレートの登録方法等、利用者向け研修と管理者向け研修とで内容が重複する部分があります。 利用者向けと管理者向けで共通する研修内容については、利用者与管理者同時に1.5時間の研修を実施してもよろしいでしょうか（その場合、管理者のみに関連する研修を1.5時間追加で行います）。	利用者と管理者で共通する内容は、同時に実施していただいても結構です。
12	仕様書P.2 4（3）生成AI活用支援業務（職員研修）	システム利用職員（約60名程度）とありますが、この研修に参加予定の原課様の範囲（課の数など）はどのような想定なのでしょうか。	研修に参加するシステム利用職員は、利用予定のある課から1～2名程度の参加希望者を募る予定です。多くの課で利用する想定をしており、部署数としては55部署あります。
13	仕様書P.2 5（1）サービス利用者数	ユーザ登録数は500ユーザ以上とすると思いますが、サービス利用開始時点で実際に登録するユーザ数はどれくらいを想定されていますでしょうか。	利用が見込まれる職員を一括で登録する予定をしており、サービス利用開始時点は、概ね500名前後を想定しています。
14	仕様書P.3 5（4）RAG機能に関する技術的支援 ④利用期間中における管理者からの技術的な問合せへの対応	問合せ対応方法について、専用のチケットツール（顧客対応専用フォーム）の使用は可能でしょうか。	専用のチャットツールの使用につきましては、ブラウザで利用できるサービスであれば利用可能です。インストールが必要な場合は、対応しかねる場合があります。

質問に対する回答一覧

※質問内容は、原文のとおり記載し、同種の質問についても全て記載しています。

No.	質問項目	質問内容	回答
15	様式 3 No.6	「ユーザーと生成AIのやり取りを含んで回答を作成できること。」とございますが、こちらは、RAGの学習データとして反映させることができるという認識でよいでしょうか。	生成AIの初期回答に対し、修正・改善指示などを行い、最終的な回答を生成できることを意図しています。下記事例を参考にしてください。 (例) ユーザー：成人式の市長挨拶文を作成して AI：初期回答 ユーザー：もう少ししやわらかい表現で親しみやすい印象を与えるように修正指示 AI：最終回答
16	様式 3 No.10	「プロンプトテンプレートを登録し、ユーザはそれを呼び出して使用できること。」とございますが、弊社サービスはプロンプト入力が必要とせず、AIと対話しながら文書をすり合わせ・作成できる設計となっております。そのため、プロンプトのテンプレートの用意がございません。そのような仕様の場合、本項目はどのような表記をすればよいでしょうか。	様式 3 No.10の目的は、主に下記の3点です。 ①生成AIに不慣れな職員でも適切な利用が可能となる。 ②適切なプロンプトを全庁的に共有することで、職員のリテラシーの向上を図る。 ③繰り返し利用するプロンプトをテンプレート化することで、効率性の向上を図る。 本市の想定としては、「以下の会議議事録を要約し、主な議題・決定事項・次回までの課題を箇条書きで整理してください。」などのプロンプトをテンプレートとして管理し、呼び出して使用できるシステムを想定しております。 上記目的を達成していると判断される場合は、○を記載し、サービス提供開始時点で実装可能な場合は、△を選択してください。 なお、本市の想定と異なる場合は、提案書の中で上記目的を満たす機能の詳細及び満たすと判断した理由を記載してください。
17	その他	落札した場合に締結する契約書（案）につきまして、事前に確認させていただくことは可能でしょうか。また、契約書（案）が落札後の提示となる場合、弊社にて内容を確認の上、必要に応じて修正等のご相談をさせていただくことは可能でしょうか。	契約書については、事前の公表はしておりません。プロポーザル後に契約候補者と協議の上、決定いたします。必要に応じて修正や条文の追加等も協議いたします。
18	その他	令和7年4月1日時点の職員数の内訳（会計年度任用職員含む）についてご教示いただけますでしょうか。	R7.4.1時点の職員数は下記のとおりです。 正職571人、会計年度任用職員577人 合計1,148人 (敦賀病院職員を除く) サービス利用開始時点では、500名前後のユーザー登録を予定しています。
19	補足		プレゼンテーションの順番については、提案書を受理した日時順の降順（提出が一番遅かった事業者が最初にプレゼンテーションを実施）とします。